

## 植木算 2

(問題 1)

男の子と女の子が交互に並んでいます。両端は男の子で、女の子が7人います。男の子は何人並みますか。



たっくん、わかるかな？



こんなの簡単だよ。この前勉強した問題と同じだから、 $8 - 1 = 7$ 人だよ。



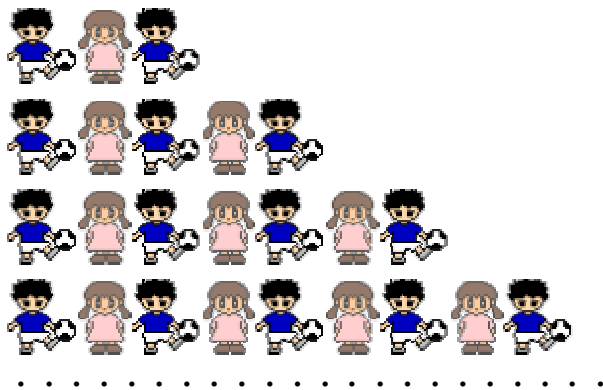
何でも1をひけばいいというわけじゃないんだよ。

さおりんは、どう？



え〜とね。

女の子が1人だったら、男の子は2人、女の子が2人だったら、男の子は3人、女の子が3人だったら、男の子は4人、女の子が4人だったら、男の子は5人、・・・



表にしてみると・・・

女の子 1 2 3 4 . . .  
 男の子 2 3 4 5 . . .

男の子は女の子より1人多くなるはずだから、女の子が7人だったら、男の子は  $7 + 1 = 8$  人となるわよね。



見事正解だよ。



先生、この問題って、この前の(問題1)と同じじゃないの？



いいところに気づいたね。

別に女の子に注目して考える必要はないんだよ。

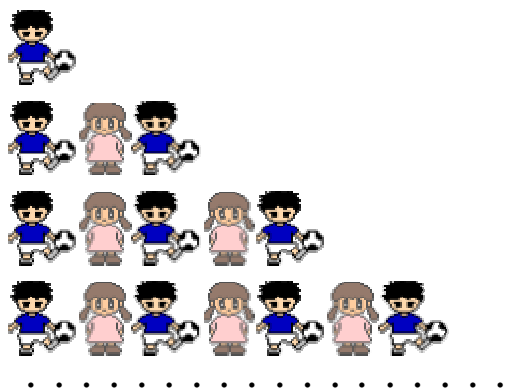


あっ、先生、待って。

男の子に注目してやってみるから。

男の子が1人だったら、女の子は0人、男の子が2人だったら、女の子は1人、男の子が3人だったら、女の子は2人、男の子が4人だったら、女の子は3人、. . .

男の子が1人の場合、両端と言えるか微妙だけど、いいわよね。



表にしてみると . . .

男の子 1 2 3 4 . . .  
女の子 0 1 2 3 . . .

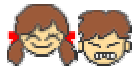


男の子は女の子より1人多くなるはずだから、女の子が7人だったら、男の子は $7 + 1 = 8$ 人となるわね。

何に注目するかで、問題が違うように見えるのね。



そうだね。注目するものによって、問題が難しくなったり簡単になったりするから、注意してね。



は~い。



先生、この問題もこの前のペアにする考え方で解けるの？



解けるよ。たっくん、やってみて。



人を全部かく必要はなかったんだよね。

こんなふうに最初と最後の部分だけかけば、わかるよね。



. . . . .





また男の子が余っているよ！

男の子は女の子より1人多くなるはずだから、女の子が7人だったら、男の子は $7 + 1 = 8$ 人となるよね。



そうだね。完璧だね。

(問題2)

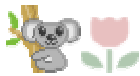
まっすぐな道に沿って、木が等間隔で10本植えてあります。両端の木は36m離れています。木は何m間隔で植えましたか。



たっくん、解いてみて。



木と間隔をペアにして書き出すと・・・



.....



またコアラとチューリップが登場したのね。



うん。

え～っと、最後に木が1本余るから、間隔の個数は木の本数より1少なくなるはずだよね。だから、間隔の個数は $10 - 1 = 9$ 個となるよ。

間隔 9 個分が 36 m だから、間隔 1 個分は  $36 \div 9 = 4$  m となるよね。

答えは 4 m だあああ！！



完璧だね。

一般に、両端に木を植えない場合、植える木の本数 = 間隔の個数 - 1 (逆から見ると、間隔の個数 = 植える木の本数 + 1) となるよ。

これもペアにする考え方で確認できるから、あとで自分で確認してみてね。



は~い。